

ひまわり

創刊号

部長あいさつ

関口了子

今年度は、各部署において人事や組織の刷新が行われました。看護部も緒方くみ子副看護部長と山口圭子教育指導担当師長を迎え、以前から念頭にしていた業務と教育の各責任者を専従配置した看護部組織を作ることができました。

そこで、委員会組織も業務と教育の2本柱で運営することにして、その他事項は各担当者が協力連携するように変更しました。

業務委員会は、緒方副看護部長、城ノ下、長井、中野、濱田師長が担当し、教育委員会を山口、久保、久留須、小牧師長が担当することになりました。

組織変更等で今年のスタートが遅れた分をチームワークで取り戻そうと今、師長さんたちはハチマキして頑張っています。職員の皆さんのご協力をお願いします。

この新体制を看護部全体で発展させていくためにも、職員間の風通しをよくすることが大事なことです。看護部情報誌「ひまわり」には院内外の情報を満載して「情報の風」を流し、癒し・勇氣・元気・やる気の大きな花が咲くように育てていきましょう！！

教育講演会 フィッシュ哲学導入「笑顔で・元気に・楽しい職場」

H21年6月27日開催 講師：藤井ノ子氏

皆さんも病棟に魚が泳いでいませんか？これってなあに？と思っている方もいるでしょう。そう、フィッシュ・・・つまり魚なんです。活気のない魚市場が生き残りをかけて改革をして観光スポットとなり、経営に行き詰まった企業がヒントをもらいに来るまでになった・・・その魚市場の精神をヒントにしているのが「フィッシュ哲学」なのです。

今回は藤井先生に講義をしていただきました。最初は医療以外の企業に導入されていたようです。スターバックスやマクドナルドなど・・・日本では、慈恵医大病院が最初に取り組みされたということでした。なぜフィッシュなのでしょう？

良い医療を実践すること＝働きやすい環境をつくること＝患者中心の医療の実践

内部顧客満足度がアップする→外部顧客満足度アップにつながる。慈恵医大病院でのフィッシュ取り組み前後の状況は、以前は冷たかったが、雰囲気が良くなった、顧客満足度がアップしたなどいい効果があったようです。

フィッシュの具体的な取り組みとして、メンバーへのお誕生日カード（スタッフのいいところを書いて渡す）サンキューカード（今日は一緒に処置を手伝ってくれてありがとう）敬語週間の表彰（なぜ表彰されたのか、理由は明確にする）他部門への表彰（リハビリスタッフにいつも食事介助を手伝ってくれてありがとう）

など、いつも当たり前と思っていることに対していろんな取り組みをされているようでした。20以上もある看護単位の中で、全病棟が実践しているのでもなく、強制でもなく・・・とされていました。フィッシュの感染がパンデミックになりますように・・・願っております。

- ①遊ぶ
- ②楽しむ
- ③注意を向ける
- ④態度を選ぶ

この4つが大きな柱になります。

フィッシュってなあに？よくわかんない、講義受けてないからわかんないと思った人。フィッシュに関する小さな本（読みやすい）もありますので、ぜひ読んでみてください。（瀬戸口）



教育委員会 研修レポート



STARTING

10人の新人看護師が仲間入り

4月に10人の新人看護師が仲間入りしました。

3～4月の集合研修ではプリセプターが看護技術に関する講義を行い基本的な技術の確認や当院で使用している機器類について学びました。特に注射や点滴の実施には真剣な表情で取り組んでいました。

5月には伊佐市にある楠本川溪流自然公園で一泊研修を行い、ウォークラリーや事例検討、座談会などを企画しました。敷布団がなくて痛い思いをしましたが、大自然の中でリフレッシュできた研修となりました。

6月の集合研修「他部門との連携・管理」では栄養科・薬剤科・医事科の方に直接、講義をお願いしました。講義の後半はわからないことなど積極的に質問していました。現在、新人看護師は2ヶ所目の部署での研修中です。最近インシデントレポートが出されているようです。集合研修で学んだ基本的なことを確実に実践し、安全なケアの提供をしてほしいと思います。(山口)

WALKING

5/22(金) 講師:下青木主任

看護過程を理解し展開できる

グループワークでは、NANDA看護診断分類法Ⅱの13領域の枠組みを使用し、事例(脳梗塞患者の回復期の看護)に基づいた看護計画の立案を話し合い、発表してもらいました。どのグループも活発に意見交換ができ、事例患者にあった看護計画の立案ができていました。看護過程は看護をする上で基本となるものです。皆さん、個別性を重視した看護計画・立案ができていますか？この機会に患者にとってより良い看護を提供できるように、看護過程について振り返ってみてはどうでしょうか。(牧山)

RUNNING

6/4(木) 講師:瀬戸口主任

リーダーシップについて

研修生はグループワークや瀬戸口主任による講義をとおり、理想のリーダーとは？リーダーシップを発揮するためには？など考えることができました。研修生が日々のリーダー業務に挑戦したり、積極的にリーダーシップを発揮することを期待しています。目指すはシチューを作るタマネギのようなリーダーシップです。おいしいシチューを作れるように頑張りましょう。(岩下)



HOP

5/28(木) 講師:村尾主任

固定チームナーシングにおけるリーダーの役割

はじめに、固定チームナーシングについての知識の確認のために各自記入してもらい(日頃実施していることですが、活字にするとなかなか書けなかったようでした)その後で固定チームナーシングの目標、定義、チームリーダーの役割(現在チームリーダーをしている人はいませんでした)などの講義がありました。

固定チームナーシングのチェックリストを用いて各自10項目(実際は40あるが)チェックしてもらい、集計を出し、これからの課題の明確化を図っていきました。

後半に「ボランティアの決定」というグループワークを行いました。内容はそれぞれ年齢も背景も違う6人がボランティアに応募してきて、この中から2人を選ぶという内容で、各自が順位づけとその理由を考え、その後グループで活発な意見が出て話し合いが進みました。各自の意見を通すところ曲げなければいけないところ、他のグループとは違う意見の発表の仕方などできていました。

固定チームナーシングって？なんだっけ？と思ったあなた、病棟にある「固定チームナーシング第2版」を開いてみてください。(瀬戸口)



サービスマーケティング ～自院の役割機能を考える～

サービスマーケティングとは？

サービスをどのように顧客に販売し、満足していただくか、サービスの販売に適した仕組みをどのように組み立てるかといった課題を扱う学問のことです。

研修の中で、実際に当院におけるコアサービスとは何かを考え、発表してもらいました。皆さん一生懸命考え、地域医療支援病院であること、7:1看護基準であること、24時間高度医療の提供を行っていることなどが挙がっていました。サービスを提供する上で最も重視されることが信頼性であると講義の中でありました。今回の研修での学びをいかし、一人ひとりの患者さんの思いに寄り添い、その人が望まれるよりよい看護の提供につなげていきたいと思います。(長元)

キャリア研修生へ宿題

- ①サブ・サービス
- ②コンディショニング・サービス
- について各自考え提出して下さい

主任会の取り組み

電子カルテを導入して2年になります。

NANDAの看護診断を用いての看護収集、アセスメントに困ったことはないですか？患者指導を共同問題で展開してしまい、記録を書きながら「この看護診断ラベルおかしいな、もっとピッタリあうラベルはないのか」と思うことが私には時々あります。そのもやもやとした気持ちを一新するために、今年度主任会では「看護記録の充実を図り、看護の質を高める」を活動方針として、13領域について学習し、各部署にフィードバックします。そうすることでデータベースが示す意味を理解でき、個性のある看護記録が書けることを信じて活動していきます。患者の満足が、看護師の喜びに変わり、1年後にはきらめく白衣の「天使の笑顔」があちこちに増えることを信じています。(片平)

看護業務手順基準部会の活動

看護業務基準とは看護を行う上での標準的な看護を現します。例えば「胃癌患者の看護はどのように行うか」「胃カメラ時の看護はどうするか」等です。

看護業務手順とは、看護業務を行う上での作業の順番で、「入・退院手順」「注入食手順」「ポータブルトイレ設置手順」まで数多くあります。

私たち「看護業務基準手順部会」メンバーは、患者さんに質の良い看護を提供するため、標準となる看護基準・手順を最新のガイドラインに基づき改定していく必要があります。

今年度は現在ある看護基準・手順を改定しながら、電子カルテ操作を盛り込んだマニュアルの作成に取り組んでおります。大変地道な作業でありながら、メンバーも毎回いろんなアイディアを出して頑張ってくれています。皆さんも日々の業務の中で何か困った事がありましたら、是非、看護業務基準書・看護業務手順書を開いてみてください。きっとお役に立てるはずです。一人でも多くの方のお役に立てるようにメンバー一同頑張りますのでよろしくお願いします。(濱田)

看護部カトレア会 親睦会報告

6月30日18:00から、看護部カトレア会主催による恒例の「親睦会」を実施しました。例年、秋に実施していましたが、今年は、新入職者の方々と早い時期に交流し、親睦を深めようとこの時期に企画しました。今年、初めて野外での「バーベキュー」を企画し梅雨の最中、当日は神様の思し召しか、雨に降られることなく無事に行うことが出来ました。初めての試みで、カトレア委員の準備や配慮不足の点もあり、反省することも色々ありましたが、総勢80名の参加がありました。お肉の量・質には、特に気を配り、参加したみなさんには満足していただけたかと思っております。また、ちょっと気分を味わってもらおうと購入した、「ノンアルコールビール」が意外にも好評だったようで、足りなかったと言うご意見もいただきました。もし、また来年も企画することになりましたら考慮したいと思います。

今回、野外ということで、開放感もあってか、日頃見られないみんなの笑顔や笑いが聞かれ、にぎやかなバーベキューパーティーになりました。また、夜勤・遅出勤務看護師・助手さん人達へのお弁当もボリューム満点で、おやつサービス付きも好評を得たようでした。カトレア会の活動は、市民病院看護部のみなさんの会費から成り立っている会です。看護部総会・親睦会への参加は、できるだけたくさんの方々に参加して欲しいと考えておりますので、これからもカトレア会の活動へのご協力・ご支援を宜しくお願い致します。(小牧)



シリーズ

ふれあい



今年も七夕が近くなり、病棟それぞれに七夕の飾り付けを行いました。

回復リハビリ病棟でも事前に患者さん、職員で準備して、7月2日の午後にみんなで、飾り付けを行いました。

「みんなが健康でありますように・・・」「早く退院できますように・・・」患者さんたちの思いを短冊にのせて結びました。

「35歳までにお嫁にいきますように」なんて誰かのあつかましい願いもありましたが・・・飾り付けが終わった後で、みんなで記念撮影をしました。「みんな笑って！撮りますよ！」かけ声と同時に、ある患者さんがにっこり笑って「ピース」サイン。80代の患者さんのそのしぐさと笑顔に、本当に嬉しくなりました。

どうかみんなの願いが、織姫さま、彦星さまに届き、早く元気になられますように★（長井）



トピックス

認定看護師 合格者1,356人、17分野5,794人に

日本看護協会は1,356人を新たに認定看護師として認定し、総数は5,794人になりました。2009年度から「脳卒中リハビリテーション看護」「がん放射線療法看護」の2分野が追加され、19分野に拡大されています。

残念ながら当院では現在、認定看護師はいませんが、「チャレンジ制度」を利用して、「感染管理」「摂食・嚥下障害看護」など関係の深い分野の認定看護師が誕生することを願っています。教育機関の数も増えています。どんどんチャレンジして下さい！関心のある人は日本看護協会ホームページをクリック！！（山口）

<http://www.nurse.or.jp/> 検索



編集後記

看護部から「教育新聞」と「ナーシングロード」を発行していましたが、今回からは一つにまとめて2ヶ月に1回のペースで看護部だより「ひまわり」を発行することになりました。各委員会の取組みやいろいろなシリーズを展開していきたいと思っています。シリーズ“ふれあい”では、患者さんとの心あたたまるエピソードを、“私の自慢”では皆さんの趣味やペット、ふるさと、よく行く温泉宿などなど何でも自慢して下さい！皆さん方からの投稿をお待ちしています。